



なかどまり

第51号

平成30年2月10日発行

議会ガイド



新年も夢を抱いてハツラツと！

元旦マラソン開催

本年も毎年恒例となっている元旦マラソンで、新しい年が幕を開けました！

濱館豊光町長をはじめ、60名を越えるランナーが、スポーツ推進委員の坂田峰之氏の合図のもと、体育センターから津軽中里駅までの往復約2kmのコースを、それぞれの希望を胸に心地よい汗を流していました！

第4回定例会（平成29年12月）

目次	■ 第4回定例会		P 2
	■ 一般質問		P 4
	■ 活動報告		P 8
	■ 議会の動き・委員会だより		P 10

◆新たな特産品メバルせんべい開発に向けて

『中泊メバ活プロジェクト』補助金増額

第4回 定例会

12月7日～
12月12日

平成29年第4回定例会が、12月7日から12月12日までの日程で開かれました。

11日には一般質問が行われ、荒関富雄議員、川山光則議員、の2名が、町側の答弁を求めました。

最終日の12日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など報告2件、議案26件、発議2件をいずれも全会一致で承認、可決、同意しました。

補正予算

■一般会計補正予算第5号

予算総額に6552万8千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

光ケーブル移設工事費

665万円

□民生費

マイナンバーシステム改修業務委託料

166万9千円

障害者総合支援法等制度改正対応システム改修業務委託料

108万円

障害者自立支援給付事業に係る扶助費

□土木費

町道補修事業

250万円

除雪用重機修繕料

200万円

□教育費

小泊中学校校舍改築工事

1545万4千円

町外保育施設入所事業

1141万7千円

認定こども園運営事業に係る扶助費

2091万4千円

ひとり親家庭等医療給付事業に係る扶助費

192万1千円

□農林水産業費

水産加工施設冷凍機導入事業

1002万9千円

中泊メバ活プロジェクト補助金

632万5千円

□土木費

町道補修事業

250万円

除雪用重機修繕料

200万円

□教育費

小泊中学校校舍改築工事

1545万4千円

町外保育施設入所事業

1141万7千円

認定こども園運営事業に係る扶助費

2091万4千円

ひとり親家庭等医療給付事業に係る扶助費

192万1千円

設計業務委託料

△3821万9千円

託料

229万4千円

■国民健康保険特別会計 補正予算第3号

事業勘定は予算総額に54万7千円追加するもので、歳出の主なもの、職員人件費の調整。

診療施設勘定は予算総額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

額から235万3千円減額するもので、歳出の主なものは、臨時職員賃金等の調整。

■後期高齢者医療特別会計 補正予算第2号

予算総額に19万5千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。保険料納付システム改修業務委託料

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

19万5千円

条例関係

■議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

例の一部改正

■特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

県に準じて、町議会議員、特別職の期末手当の支給割合を改める。

■町職員の給与に関する条例の一部改正

県に準じて、職員の給料月額、勤勉手当の額等を改定する。

■報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会法の一部改正に伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬等を定める。

■津軽鉄道株式会社に對する固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

固定資産税の課税免除

期間を3年間延長するため、条例の一部を改正する。

■税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。

人事案件

■農業委員会委員の任命

現委員の任期が、平成30年3月27日をもって満了のため、後任の委員任命に同意を求めるもの。

専決処分

■損害賠償額の決定

町所有の公園内の桜の木が隣接する民家の汚水枡に侵入し、損害を与えたことから、24万7320円を支払い、和解したことを報告。

■一般会計補正予算第4号

予算総額に1444万4千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

衆議院総選挙費

966万1千円

中央公民館階段改修工事

2500千円

発議

■道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定による補助率の高上げ措置が、平成29年度までの時限措置であることから、平成30年度以降の継続、道路整備に必要な予算の拡充を図ることを求め、国関係省庁に意見書を提出するもの。

■若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書

マクロ経済スライドは、高齢者の平均余命の伸びと現役人口の減少を合わせた率で年金額を毎年下げていく仕組みとなっていることから、全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現することを求め、国関係省庁に意見書を提出するもの。

傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成30年 第1回定例会は、3月上旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問はインターネット・ライブ中継が
ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにも
テレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



一般質問

・教育行政について

(教育振興策について、具体的方策を講じているのか)



荒関富雄議員

Q

教育委員会は教育改革により独立機関ではなくなり、教育振興策については、町と協議し具体的方策を講じていると思うが、政府が発表した「人づくり革命」について今後どのような議論をし、方策を講じていくのか。

A

■濱館豊光町長

お尋ねの人づくり革命、安倍総理の経済改革として出てきたアベノミクス、



濱館町長答弁

その後一億総活躍社会、そして人づくり革命、働き方改革、私自身この一連の流れをどういうふうを受けとめているかと申しますと、これは全て社会保障と税の問題、ここに根本の問題があるのだろうと認識をしております。今支える側、支えられる側、この比率が逆転をし、日本が超高齢化社会に向かっていく中で、社会保障の部分で非常な危機感を持っているのだろうと県庁職員時代から感じておりました。

この人づくり革命、地方の教育委員会制度が教育改革によって少しずつ変革してきている中で、

今町と教育委員会がどのような話をし、方策を講じているのかは、私からお答えをさせていただきます。

ご承知のとおり、平成27年4月1日、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴いまして、首長と教育委員会が相互に連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政としていくために、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、全ての地方公共団体に総合教育会議を設置、教育に関する大綱を首長が策定することとされております。

このように、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行に当たることが制度化されたわけでありますので、今後とも首長の関与と、引き続き求められている政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保を共に担保しながら、教育委員会が本町の学校教育、社会教育等に関する事務を専門的に担当する行政機関であることを基本として、連携しながら適切に対応して参りたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

A

■米塚教育長

総合教育会議においての教育委員会としての具体的な方針及び国の人づくり革命の方策についてお答えいたします。

その前に、教育長としての理念を述べさせていただきます。聞いたこと

は忘れやすく、見たことや体験したことは身につきやすいと言われます。夢や志、向上心を持ち、自己実現を図り、知徳体の調和のとれた人材を育成するために、様々な体験の場を創出して参りたいと考えます。将来の夢や志を持つきつかけとなるのは、心を動かされる人や物、様々な事柄との出会いであると考えます。

一例を申し上げますと、相撲界で現在活躍している宝富士関や阿武咲関も、家族や周囲の理解、協力のもと、小学生の頃から伝統的に開催されている相撲大会に参加したり、町には相撲道場があり、優れた指導者がいたという環境や出会い、その過程で培われた不撓不屈の精神や本人の努力の継続が、現在に至っているものと考えます。どうしたら勝てるか考えること、一つのことを継続するということが、やがて習慣

となり、それが使命に変わり、他の人や社会のために力を発揮し、貴い人生を送ることができるとあると考えるべきです。

以上のことから、私は体験することが非常に意義あることと考えております。

また、知徳体においては、学校教育で多くの知識を身につけるだけでなく、得た知識を活用していくことが大切と考えます。

身につけた知識を活用して、様々な場面や状況に転用したり、転換したりできる知恵に変えることもできるからです。

本町においては、首長と教育委員会が協議、調整しながら策定された第2次中泊町長期総合計画の教育部分及び福祉部分の一部をもって、中泊町教育施策に関する大綱とし、中泊の未来を担う人材を育む教育推進プロジェクトを重点プロジェクトとしております。

主な取り組みとして、

1 点目は「教育力の向上・充実」であります。児童生徒一人一人の個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながる学校教育の充実を図ります。そのために、教職員の指導力向上のための研修会の実施や、読書を含めた学習習慣の定着や、学力の向上に向けた学習支援員の配置を検討して参りたいと考えます。

さらに、自分が住んでいる地域との交流を通じて、地域の歴史や文化を

学ぶとともに、地域の特徴や魅力を知る機会を創出し、郷土への愛着を育む教育を推進して参ります。

2 点目として、「学校教育の体制・環境の整備」であります。学校教育の体制につきましては、平成19年度に管内小中学校に学校生活支援員を各1人配置し、児童生徒の学校生活を支援し、教員が授業に集中できる体制をとっております。不登校傾向が見られる児童生徒に対しては、カウンセラー等の県派遣事業を活用し、心のケアや保護者の悩み相談等の指導をいただき、引き続き対処して参ります。

また、学習意欲のある児童生徒には、今年6月、中央公民館で県が開設した「学習講習会」を広くPRしながら、学習の機会を整えて参りたいと考えております。

環境の整備につきましては、平成27年度から学



電子黒板機器の活用(小学1年算数の授業)

校電子黒板機器導入事業

を計画し、現在管内6小中学校に各2台設置しており、計画完了までに校舎各階に1台、計16台の設置を考えております。

町内の1小中学校では、今年度県の小・中学生育成支援事業に係る授業改善実践校の指定を受け、来年度から教科としての道徳教育等に県から貸与されたICT機器(タブレット)を活用した授業改善に取り組んでおり、他校の模範となるよう整備を図っているところでございます。

3 点目として、「社会教育・家庭教育の推進」

であります。社会教育につきましては、地域人材や地域資源を活用した時代に適した多様な講座、教室の開催、各種サークル活動の支援、各種子ども教室等の事業を実施するとともに、学び直しといったリカレント教育の取り組みも視野に入れ、検討して参りたいと考えております。

また、体育におきましては、陸上、剣道、柔道、卓球、相撲の5冠大会、町民大運動会の開催等、スポーツ活動の盛んな地域であるため、今後も地域間交流、世代間交流の活性化のため、町体育協会、スポーツ推進委員の方々のご協力のもと、健康づくりを支援し、指導員の人材育成の充実を図り、推進して参ります。

家庭教育につきましては、子供の発育段階に応じた学習機会の提供や情報提供にも努めて参ります。

4 点目として、「文化・

芸術等の充実活動」であります。総合文化センター・パルナスを文化芸術活動の拠点として位置づけ、子供たちの感性を育成する芸術鑑賞の機会を提供し、図書館では幼児からの読書習慣を身につけるための事業、博物館においては文化のふれあいを目的とした子ども教室の開催、現在収蔵している文化財、町内に眠っている文化的価値の高いものは、観光資源としても活用できるものであり、関係各課との連携により今後町外へ発信して参りたいと考えております。

以上の4点を踏まえ、町部局との連携をこれまでに密にし、学校教育、社会教育の充実に努めるとともに、人づくり革命については今後の国の動向を見ながら検討して参りたいと考えておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

- ・ 施設管理について(町内各種施設の電気設備等の管理について)
- ・ 町政について(中里高校の今後について、観光・漁業の振興について)



川山光則議員

Q

町内各種施設の電気設備等の管理は、新しく庁舎もでき、かなり多くなつたと思われる。

これらの管理については、町外の業者が多いことから、一般競争入札を行えば、管理料がまだまだ安くなるのではないかと、町内の民間会社からも提案がありましたので、現状と今後の方針を伺いたい。

A

■木元財政課長

電気設備の管理に当た



濱館町長答弁

つては、電気事業法の中で主任技術者資格保持者を選任して管理することと規定されておりますが、この資格を有する職員がいない状況でございます。このため、町では自家用電気工作物がある町内26施設について、一般財団法人東北電気保安協会青森事業本部に保安管理業務を委託し、年次点検や月1回の点検等を通じて、電気設備の安全な管理に努めております。

契約を」とのご提案でございますが、町全体として相当の財政効果が得られる可能性があることから、前向きに検討したいと思っております。

A

■濱館豊光町長

これらに真新しいものがあるか、町政全般について答えられるものを伺いたい。

その中でも、中里高校の今後について、観光の振興対策について、漁業振興について、この三点に絞って伺いたい。

平成30年度の当初予算につきましては、まちづくりの指針となる第2次中泊町長期総合計画の2年度目となります。本町が将来にわたり持続的に発展を続けていくことを主眼に置いた予算編成を行うよう努めて参りたいと考えております。

7日に行いました議員説明会で、平成29年度から平成31年度までの第2次中泊町長期総合計画の第1期実施計画を説明させていただきましたが、

その中で中泊ブランド推進地域活性化プロジェクト、中泊メバ活プロジェクト、総合福祉健康センター建設事業、中里地区排水路整備事業、中泊町総合運動公園改修事業、この5つの重点プロジェクト事業を着実に進め、仕事と人の好循環、それを支える町の活性化を図って参る所存でございます。

新年度に向けて町政全般で真新しいものがあるかにつきましては、3月の定例会に当初予算を提案してご審議を賜りたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いを申し上げます。

また、「中里高校の今後について」でございますが、先般報道でもありました、現在来年度の第1次志望者募集人員40人に対して、条件にされております20人、いわゆる半分、これを割って今15人となっております。この状態が2年続きますと、中里高校が置かれて

いる地域校としての高校
存続が難しい状況になっ
てくるということござ
います。

町といたしましても、
中里高校新入生徒就学
援助事業として、入学者
に対し、教科書と副教材
費1人当たり約1万円の
助成、それから武田・中
高線バス、つがる市乗
り合いタクシー運行費の
負担、中里高校活性化支
援事業補助金を交付し、
なかどりまつりねぶた
運行に参加していただい
ております。



中里高校SBP同好会、セレクトギフトボックス

デザインし、企
画販売しており
ます。
高校生もこの
活動で、テレビ
や報道に取り上
げられて、非常
に元気に活動し
ているように私
も受けとめてお
ります。
新年度の取り
組みにつきまし
ても、新たな活

今最も力を注いでおり
ますのが中里高校SBP
同好会、ソーシャルビジ
ネスプロジェクト、これ
はメバ焼きという、鯛焼
きのメバル版をやつてく
れているグループですが、
文部科学省もこのSBP
の取り組みで地域づくり
を担う人材育成のために
と後押しをしていただい
ております。これまでの
活動として、今年話題の
メバ焼きの前にも、町の
特産品を幾つかリストア
ップして、セレクトギフ
トボックスというものを

動を今鋭意検討させてい
ただいております。県
外にも中里高校の活動が
広まるような取り組みが
できればと考えておりま
す。

子供たちが入学したい、
中里高校で3年間を送り
たいという魅力のある学
校になれるよう、町とし
ても支援して参りたいと
考えておりますので、ご
理解のほどよろしくお願い
致します。



■葛西総合戦略課長

私からは、観光振興対
策での竜飛崎を通る小型
バス運行についてお答え
します。

竜飛崎を通る小型バス
の運行については、竜飛
崎経由のルートを設定す
る場合、定期観光バスの
な目的となり、生活交通
としての国の補助は期待
できなくなります。

また、外ヶ浜町、今別
町では、今別から竜飛崎

までのバスを運行してい
るため、他町との連携し
た負担は見込めないこと
から、町単独事業となり、
多額の赤字補填が予想さ
れます。

これらのことから、バ
スの運行ではなく、新幹
線利用客がレンタカーや
タクシーで当町の観光施
設等を利用した場合に直
接効果が見られる助成。

例えば、町で使える商品
券、食事券、割引券など、
これらを交付し、誘客促
進につながるものがない
か考えていきたいと思ひ
ます。

また、奥津軽いまべつ
駅・津軽中里駅間バス運
行協議会では、現在奥津
軽いまべつ駅乗降者及び
バス利用者の動向調査を
実施しており、この調査
結果をもとに観光ニーズ
や受け入れ態勢を検討し
て参りたいと考えており
ますので、ご理解賜りま
すようよろしくお願い致
します。



■藤田水産商工観光課長

私からは、漁業振興に
ついてお答えします。

小泊地域の基幹産業で
ある水産業は、スルメイ
カを初めとする主要魚種
の漁獲不振が続いており、
資源管理を目的とする小
型クロマグロの漁獲規制
問題、そして長期の漁獲
低迷による漁業収入の減
少、さらには漁業者の高
齢化と後継者不足など、
水産業を取り巻く環境は
非常に厳しいものと認識
しております。



マツカワガレイ、試験養殖支援策を検討

漁業振興についてであ
りますが、長期総合実施
計画の水産業においては、
中泊メバ活プロジェクト
として、当町をさらに全
国へ、そして美味しさを
堪能していただくために、
水産と観光を組み合わせ
た事業を計画しているも
のであります。

また、小泊漁協が事業
化を目指しているマツカ
ワガレイブランド化に対
する支援策を検討してお
ります。地元の限られた
資源の中で陸上養殖によ
るブランド戦略を行
い、漁業者の冬場の雇
用の創出、生きがい・や
りがいの創出などにより、
水産業の活性化を図るも
のであります。

小泊地域の生業が漁業
で成り立つよう、地域の
水産資源を生かした産業
の振興を図っていく必要
があると考えております
ので、ご理解賜りますよ
うよろしくお願い致しま
す。

活動報告

正副議長・事務局長研修会

10月31日青森市の「青森県労働福祉会館」において、正副議長・事務局長研修会が開催されました。

研修会では、「議会改革で議員のなり手づくりを」と題して、新潟県立大学准教授の田口一博氏の講演が行われ、今後は議員の処遇や兼業・兼職の禁止等について、積極的に議論し、議員活動の充実「やりがい・楽しさ」を求めていく必要があります、そのためには、子ども期からの「政治に親しむ場づくり」がとても重要になってくるとのことでありました。



正副議長研修会の様子

知事を囲む行政懇談会

11月7日青森市の「ホテルクラウンパレス青森」において、知事を囲む行政懇談会が開催されました。

西北津軽郡議長会からは、鶴田町の松山明議長が代表して「自治医科大出身医師の中小規模病院・診療所への配置について」要望し、知事及び担当部長から現在の取り組み状況や今後の課題についてご説明をいただきました。



三村知事よりご挨拶

地方自治法施行70周年記念式典

11月20日東京都千代田区の「東京国際フォーラム」において、地方自治法70周年記念式典が開催されました。

天皇皇后両陛下ご臨席のもと、野田総務大臣の式辞に始まり、安倍総理大臣ほか多数の方々よりご祝辞を頂戴し、地方自治功労表彰、決意表明が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。



70周年記念式典の様子

青森県選出国會議員との懇談会

11月21日東京都千代田区の「全国町村会館」において、青森県議長会主催より青森県選出国會議員の皆様方との懇談会が開催され、大島衆議院議長をはじめ、国會議員6名の先生方が駆けつけてくださいました。短時間ではございましたが、兵庫議長が国會議員の皆様方に挨拶をして回り、大島先生には、米マイロードからパルナスへのアクセス道路早期完成について、直接お願いをする機会となりました。



大島先生と兵庫議長

西北津軽郡町議会議長会視察研修

11月20日午後～21日夕方までの空き時間を有効的に利用し、西北津軽郡町議会議長会による視察研修が行われました。

今回の視察では、私たちの暮らしの未来を創造することができる日本科学未来館や、戦国武将の歴史をつづる小田原城天守閣、国宝や重要文化財が展示されているMOA美術館等を訪問し知見を広めることができ、有意義な研修となりました。

国宝「色絵藤花茶壺」
MOA美術館内

活動報告

第61回町村議会議長全国大会

11月22日東京都渋谷区の「NHKホール」において、第61回町村議会議長全国大会が開催されました。

大島衆議院議長など多くのご来賓をお迎えし、地方創生の推進など要望35件、議員のなり手確保に関する重点要望4件、豪雪地帯の振興に関する要望8件の審議を行い、満場一致で採択の決定がなされました。



議長全国大会の様子

議会タブレット端末操作研修会

12月11日・12日の12月定例会終了後、役場2階委員会室において、議会ペーパーレス化の推進に伴い、全議員参加によるタブレット端末操作の研修会を行いました。

初日は非常に手間取った様子でしたが、2日目には講師の指導のもと、スムーズに操作を行っている印象でありました。

今後はすでに導入されている先進議会の取り組みについて検証し、議会ICT化により効率的・経済的な議会の運営を目指して、タブレット端末の導入を検討していきたいと考えております。



タブレット端末操作の様子

総務大臣表彰受章

11月2日から2日間の日程で、東京都港区のメルパルクホールにおいて、平成29年度町村監査委員全国研修会が開催されました。

当日は地方自治法70周年を記念して、監査委員としての長年の功労が認められた方への表彰式が行われ、在職期間12年以上である当町代表監査委員の葛西昭文氏が、このたび総務大臣表彰を受章されました。



総務大臣表彰を受章された
中泊町代表監査委員
葛西昭文氏

12 月

- 21 日 阿武咲関三役昇進記念祝賀会
- 12 日 議会タブレット端末操作研修会
単行案審議・採決・閉会
- 11 日 定例会一般質問
- 7 日 第4回定例会開会日

11 月

- 30 日 青森県町村議会議長会理事会
- 27 日 議会運営委員会・産業建設常任委員会
- 22 日 第61回町村議会議長全国大会(東京)
- 21 日 県選出国会議員との懇談会(東京)
西北津軽郡町議長会視察研修(静岡・神奈川)
- 20 日 地方自治法施行70周年記念式典
- 17 日 中泊町善行者・功労者表彰式
- 9 日 第五回中泊町社会福祉大会
- 7 日 知事を囲む行政懇談会

10 月

- 5 日 西北津軽郡町議会議長会第2回協議会
- 17 日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動(東京)
- 18 日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動(仙台)
- 20 日 中泊町敬老会
- 30 日 議会運営委員会
- 31 日 正副議長・事務局長研修会

議会運営委員会(長利 司 委員長)

10月30日(月)

〈案 件〉

- 平成29年第4回中泊町議会定例会
会期日程及び議会運営について
- その他

11月27日(月)

〈案 件〉

- 平成29年第4回中泊町議会定例会
一般質問について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いにつ
いて
- その他

産業建設常任委員会

(山田光春 委員長)

11月27日(月)

〈案 件〉

- 道路整備予算の拡充及び道路整備に係る
補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意
見書の提出について
- その他



11/27 産業建設常任委員会の様子